

東北地方 3か月予報

(3月から5月までの天候見通し)

平成24年2月23日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

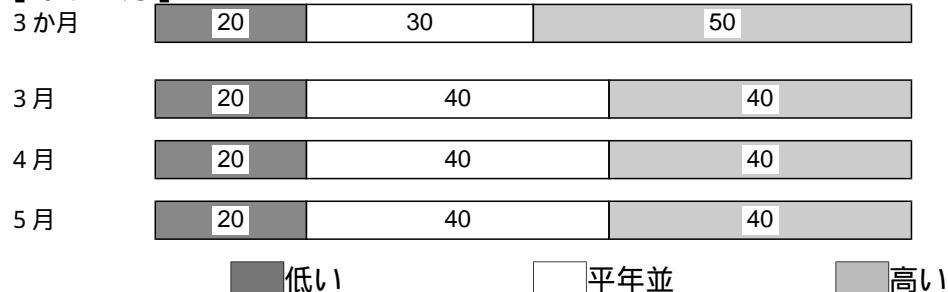
4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

5月 天気は数日の周期で変わるでしょう。
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

<<気温>>

[東北地方]

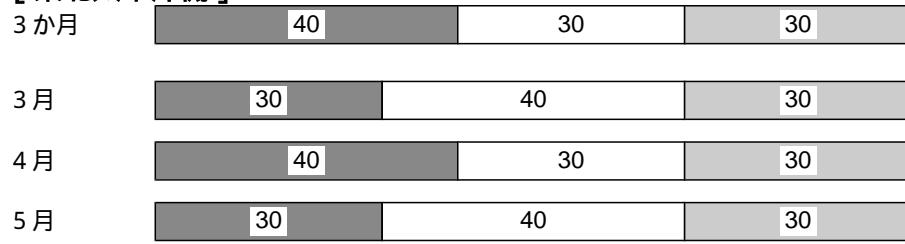


< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月24日

3か月予報：3月22日(木) 14時

なお、3月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用下さい。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月	3月	4月	5月	3月～5月
青森	2.4	8.3	13.3	8.0	69.9	63.4	80.6	213.9	130.5	182.3	201.0	513.8
深浦	2.9	8.5	13.2	8.2	78.0	87.1	116.1	281.2	110.1	173.0	191.2	474.3
むつ	1.8	7.4	12.1	7.1	82.0	80.7	98.7	261.4	146.4	188.5	195.0	529.8
八戸	2.7	8.5	13.1	8.1	52.0	64.3	89.3	205.5	168.1	188.9	197.0	554.0
秋田	3.6	9.6	14.6	9.3	96.5	112.8	122.8	332.0	124.7	170.4	182.0	477.1
盛岡	2.2	8.6	14.0	8.3	80.5	87.5	102.7	270.7	160.4	173.7	185.4	519.5
大船渡	3.8	9.2	13.7	8.9	98.0	142.8	145.2	385.9	157.6	173.0	180.3	511.0
宮古	3.3	8.7	13.0	8.4	82.1	100.6	93.9	276.5	178.6	189.3	181.2	549.9
仙台	4.9	10.3	15.0	10.1	68.2	97.6	109.9	275.7	177.0	188.5	185.2	550.7
石巻	4.1	9.4	14.0	9.1	71.1	93.2	92.3	256.6	185.0	191.3	193.2	569.4
山形	3.5	10.1	15.7	9.7	68.6	68.4	75.4	212.4	140.3	176.1	191.5	507.9
新庄	2.2	8.5	14.4	8.3	115.9	96.3	104.7	316.9	111.9	156.4	170.4	437.9
酒田	4.6	10.2	15.3	10.0	106.7	102.4	121.4	330.5	117.2	172.4	191.2	480.8
福島	5.3	11.5	16.6	11.1	75.6	81.0	92.6	249.2	174.2	186.4	187.5	548.1
若松	3.3	10.0	15.7	9.7	71.7	64.3	80.0	216.0	138.2	172.7	193.6	504.4
白河	3.9	10.0	15.0	9.6	78.2	96.4	121.2	295.8	176.8	182.6	177.6	537.0
小名浜	6.6	11.3	15.2	11.0	107.5	125.3	142.0	374.8	185.5	188.8	188.6	563.0

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

(2) 1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	3月	4月	5月	3月～5月
気温平年差()	東北地方	-0.4～+0.3	-0.4～+0.5	-0.3～+0.5	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.4～+0.2	-0.4～+0.3	-0.1～+0.4	-0.2～+0.4
	東北太平洋側	-0.4～+0.3	-0.2～+0.5	-0.4～+0.6	-0.2～+0.5
降水量平年比(%)	東北地方	89～116	88～115	86～117	95～105
	東北日本海側	85～116	89～115	83～109	95～106
	東北太平洋側	82～115	81～118	83～115	91～103
日照時間平年比(%)	東北地方	93～105	94～106	95～104	98～104
	東北日本海側	95～107	94～107	96～102	97～106
	東北太平洋側	95～104	95～105	95～105	98～102

＜参考資料（利用上の注意）＞

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（3～5月）

平成24年2月23日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

3～5月	気温は、高い確率50%です。
3月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
4月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
5月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

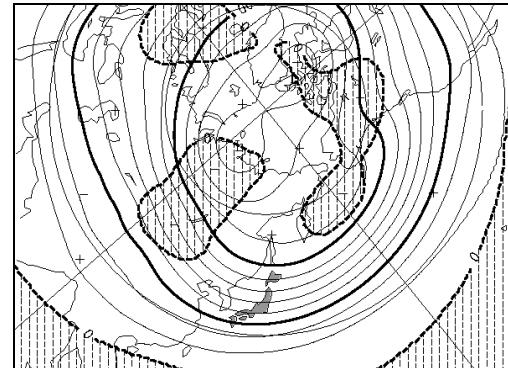
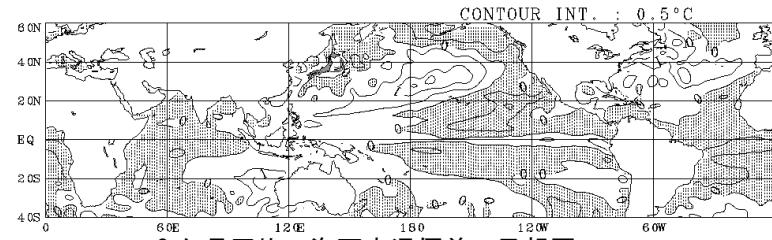
2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、西部太平洋の熱帶域では平年より高く、中・東部太平洋熱帶域では赤道付近を除き平年より低い。インド洋の熱帶域では西部を中心に平年より低い。ラニーニャ現象は春の間に終息する見込みだが、西部太平洋の熱帶域では平年より高い状態が継続し、インド洋西部では海面水温が低下する。

熱帶の対流活動(図略)は、ベンガル湾からフィリピン付近にかけて平年より活発、インド洋西部からアフリカ大陸にかけて平年より不活発となる見込み。

500hPa高度(中図)は、大陸から日本の東を含む中緯度帯は広く正偏差におおわれる。ベンガル湾からフィリピン付近の対流活動が活発なことに対応して、チベットから日本付近で偏西風が平年より北を流れるため高度が高く、暖かい空気におおわれやすい。

東北地方の3か月平均気温は高温が予想される。



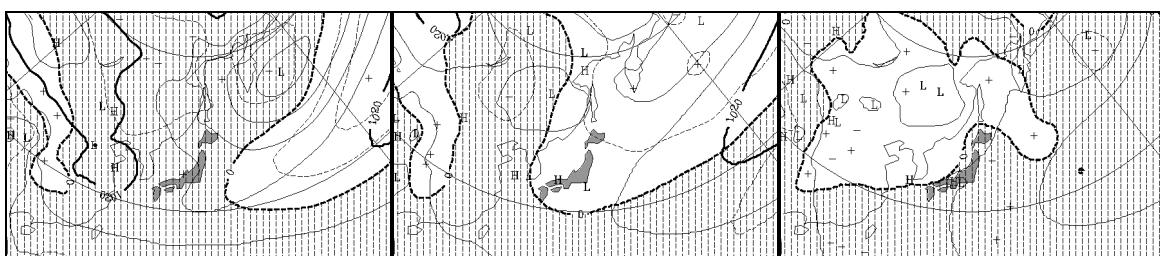
月別の予想(下図)

3月：冬型の気圧配置が緩み、高気圧と低気圧が交互に通り天気は数日の周期で変わる。寒気の影響は平年より弱く、高温傾向が予想される。

4月：高気圧と低気圧が交互に通り天気は数日の周期で変わる。暖かい空気におおわれ高温傾向が予想される。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

5月：高気圧と低気圧が交互に通り天気は数日の周期で変わる。日本付近は負偏差におおわれ、南からの暖かく湿った気流の影響を受ける時期がある見込み。高温傾向が予想される。

<参考資料>



左から3月、4月、5月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

平年の天気出現日数(日)

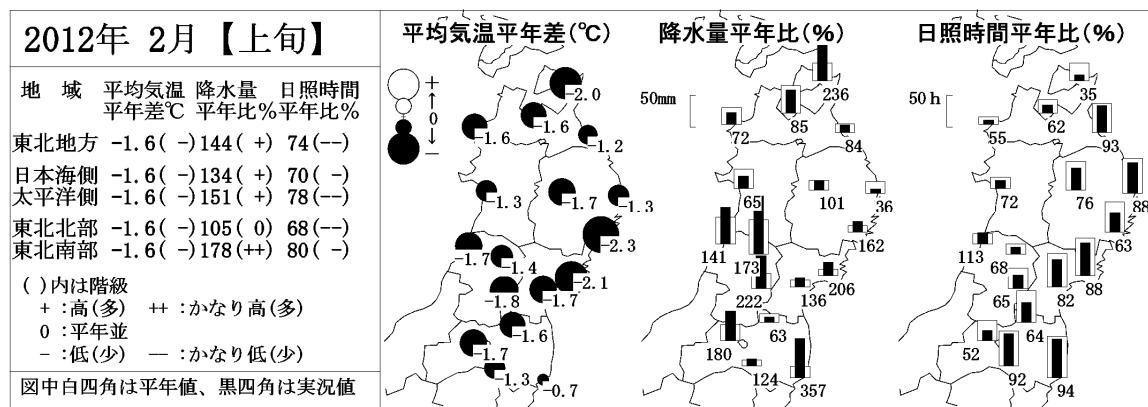
	青森		秋田		盛岡		仙台		山形		福島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
3月	12.7	13.9	12.0	14.7	17.6	11.2	19.4	7.2	14.4	11.7	19.2	8.2
4月	17.2	9.4	16.0	11.3	16.6	10.5	18.0	8.0	16.6	9.1	18.2	7.4
5月	17.4	9.7	16.1	11.0	16.3	10.3	16.2	9.0	16.9	9.0	16.6	8.1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

3. 最近の天候経過

2月上旬：期間のはじめと終わりは強い冬型の気圧配置となった。期間の中頃に本州の南岸を低気圧が北東進し、暖かい空気が流れ込んだため気温の変動が大きかった。東北日本海側では曇りや雪の日が多くたが、期間の中頃に雨の降った日があった。東北太平洋側では沿岸部を中心に晴れたが、期間の中頃は曇りや雨となった。1日から4日にかけてと8日から10日にかけては、東北日本海側で大雪となったところがあり、7日は福島県で大雨となったところがあった。

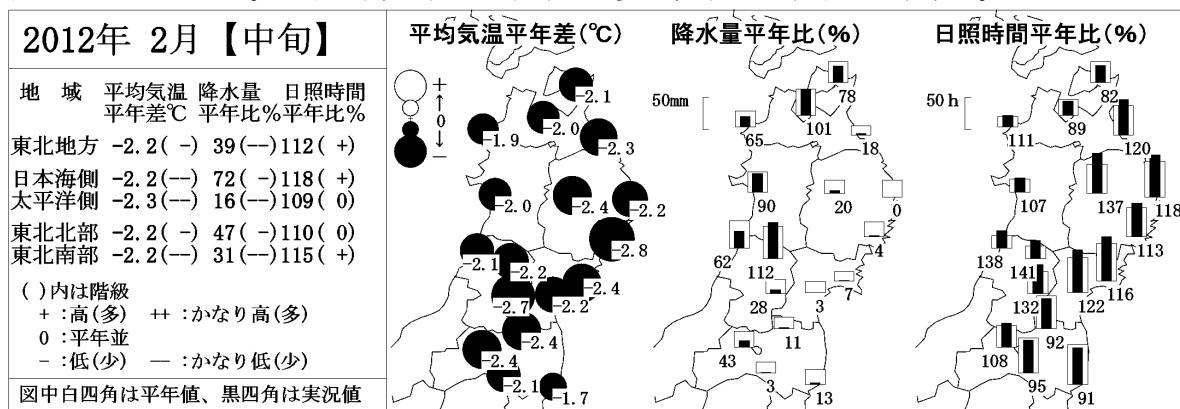
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部でかなり多い。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。



2月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

2月中旬：この期間、冬型の気圧配置となったが、期間の中頃と終わりは高気圧におおわれた日があった。東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多くた。11日から12日にかけてと17日から19日にかけては、冬型の気圧配置が強まつたため気温が低くなり、東北日本海側で大雪となったところがあった。

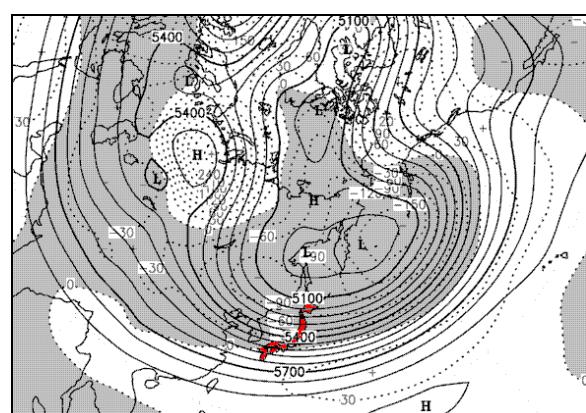
平均気温は東北北部で低く、東北南部でかなり低い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



2月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

2月(20日まで)：500hPa高度は、西シベリア付近で気圧の尾根が発達し顕著な正偏差となつた一方、オホーツク海からカムチャツカ半島の東にかけて気圧の谷が深まり、寒帶前線ジェット気流が日本付近で南に蛇行した。日本付近は北日本を中心に負偏差となつた。シベリア高気圧、アリューシャン低気圧は平年より強く、日本付近は冬型の気圧配置が強まつた。東北地方は、寒気が流れ込みやすく、気温は低くなつた。



2月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。